

主な研究業績 原 英一

1 著書

<i>Dickens in Japan: Bicentenary Essays</i>	大阪教育図書	2013年5月1日	編集
『〈徒弟〉たちのイギリス文学—小説はいかに誕生したか—』	岩波書店	2012年10月5日	単著
『ロンドン物語—メトロポリスを巡るイギリス文学の700年—』	慶応義塾大学出版会	2011年10月1日	共著
『イギリス王政復古演劇案内』	松柏社	2009年9月1日	共著
『ディケンズ鑑賞大事典』	南雲堂	2007年5月24日	共編著
『ゴルドイオスの絆—結婚のディスコースとイギリス・ルネサンス演劇』	松柏社	2002年6月10日	共編
『リーダーズ英和辞典 第2版』	研究社	1999年5月	編集参与
『研究社医学英和辞典』	研究社	1999年7月	編集協力
<i>Enlightened Groves: Essays in Honour of Professor Zenzo Suzuki</i>	松柏社	1996年9月10日	共編著
『リーダーズ・プラス』	研究社	1994年6月	編集協力

2 論文

『スペインの悲劇』—その反復の語りとドラマ—	『シェイクスピア・プリズム—英国ルネサンスから現代へ』(金星堂)	2013年3月	
ウィットと反理性—ワイルドまでの系譜—	『オスカー・ワイルド研	2012年	

18・19世紀小説とジェイムズ朝市民劇	究』第13号	2012年
—イギリス近代文学における「徒弟」の系譜—	SYLVAN 43/44 合併号	
「『バーナビー・ラッジ』と徒弟のロマンス」	『ディケンズ・フェロウシ ップ日本支部年報』第27 号	2004年10月20日
「J・H・ミラーのディケンズ批評」	『ディケンズ・フェロウシ ップ日本支部年報』第25 号	2002年10月5日
「ヴィクトリア朝の挿絵メディア」	『岩波講座文学 2 メ ディアの力学』	2002年12月20日
「耐えるグリゼルダ、耐えられない夫—結婚と犯罪のディスコー ス、その変容と融合」	『ゴルディオスの絆—結 婚のディスコースとイギ リス・ルネサンス演劇』	2002年6月10日
「イモインダの刺青——『オールノーコ』に見る小説の誕生——」	『英文学の杜—西山良雄 先生退任記念論文集—』	2000年11月1日
“The Absurd Vision of Elizabethan Crime Drama: <i>A Warning for Fair Women, Two Lamentable Tragedies, and Arden of Faversham</i> ”	『試論』第38集	1999年7月1日
「女性による王政復古期劇場の征服について」	『東北学院大学論集—英 語英米文学—』第87号	1998年3月

- “The Crime of Story-Telling: Defoe’s *Roxana* and the Form of the Novel” Eiichi Hara et al eds., 1996 年 9 月 10 日
Enlightened Groves: Essays in Honour of Professor Zenzo Suzuki (Tokyo: Shohakusha, 1996)
- “Stories Present and Absent in *Great Expectations*” Roger Sell, ed., *Great Expectations: A New Casebook* (London: Macmillan, New York: St. Martin’s Press, 1994) 1994 年 *ELH* 掲載論文の再録
- “*Bleak House* and the Reign of Metaphor” *POETICA*, 36, 1992 1992 年
- “Stories Present and Absent in *Great Expectations*” Michael Cotsell ed., *Critical Essays on Dickens’s Great Expectations* (Boston: G.K. Hall, 1990) 1990 年 *ELH* 掲載論文の再録
- “Stories Present and Absent in *Great Expectations*” *ELH*, Vol. 53, Number 3, Fall 1986 年 1986